

病 理 学

責任者：福地 邦彦
学年・学期：第1学年・前期／後期

単位数：2単位(45時間)

◆一般目標(GIO)

コメディカルを志す方達、特に臨床検査技師になるためには解剖学を始め生理学、生化学等種々の基礎学問を勉強する必要があることはもちろんであるが、なかでも病理学をよく学ぶ必要がある。というのは心電図を取るにも心臓の構造及び心疾患を心得ておく必要がある。また肝機能検査を行う際は肝疾患を知る必要があることは論を待たない。以上の如く、種々の検査と病理学とは密接な関係がある。検査に必要な病理学総論及び各論について判り易く教育する。

◆到達目標(SBOs)

1. 病理学の定義・分類が説明できる。
2. 病因について、内因、外因、発生発育とその異常、多遺伝子疾患、医原病、日和見感染、加齢・老化について説明できる。
3. 退行性病変(代謝障害)について、細胞障害(種々の変性・壊死・アポトーシス、代謝異常)、死と萎縮の定義、分類、発生機序、形態学的変化、転帰、臓器・全身への影響が説明できる。
4. 進行(活動)性病変について、肥大、増殖・異形増殖、再生、化生、異物処理、創傷治癒、移植の定義、生物学的意義、発生機序、形態学的変化、転帰が説明できる。
5. 循環障害について、充血、うっ血、貧血・虚血、出血、血栓症、塞栓症、梗塞、側副循環、浮腫(水腫)、全身循環障害(高血圧、心不全、ショック)の定義、分類、原因、組織変化が説明できる。
6. 炎症について、炎症の生物学的意義、原因、炎症の経過、炎症のメカニズムと徴候、分類、炎症の全身症状、組織学的特徴(非特異性炎、特異性炎)。
7. 免疫異常とアレルギーについて、免疫の基礎〔自然免疫と獲得免疫、抗原と抗体、免疫担当細胞、液性抗体(種類と役割、抗体産生機序)、細胞性免疫(関係細胞とその役割)、免疫に関する臓器、能動免疫と受動免疫(ワクチンと血清療法)〕、アレルギー反応・免疫寛容と自己免疫・免疫不全の定義、分類、発生機序、代表的な疾患について説明できる。
8. 腫瘍について、腫瘍の概念、発癌理論、腫瘍の分類、腫瘍関連病変、腫瘍の生物学について説明できる。
9. 循環器系の疾患について高血圧、心不全、虚血性心疾患、心臓弁膜症、動脈硬化症、動脈瘤、動脈炎の疾患概念・病理学的変化と簡単な臨床病理・臨床症状が説明できる。
10. 呼吸器系の疾患について、慢性気管支炎(閉塞性肺疾患)、肺炎、肺結核、喘息、肺癌の疾患概念・病理学的変化と簡単な臨床病理・臨床症状が説明できる。
11. 消化器系の疾患について、食道癌、胃炎、胃潰瘍、胃癌、Crohn病、潰瘍性大腸炎、大腸癌、肝炎、肝硬変、肝癌、胆嚢炎・胆石、膵炎、膵癌の疾患概念・病理学的変化と簡単な臨床病理・臨床症状が説明できる。
12. 脳・神経・筋肉系の疾患について、脳出血、脳梗塞、硬膜・くも膜下出血、外傷、脳腫瘍の疾患概念・病理学的変化と簡単な臨床病理・臨床症状が説明できる。
13. 内分泌系の疾患について、下垂体・甲状腺・上皮小体、副腎、膵島の代表疾患の概要が説明できる。
14. 血液・造血器系の疾患について、貧血、白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫の疾患概念・病理学的変化と簡単な臨床病理・臨床症状が説明できる。
15. 泌尿系の疾患について、腎炎症候群、ネフローゼ症候群、腎腫瘍、膀胱腫瘍の疾患概念・病理学的変化と簡単な臨床病理・臨床症状が説明できる。
16. 生殖器系の疾患について、前立腺肥大・癌、子宮癌、乳癌の疾患概念・病理学的変化と簡単な臨床病理・臨床症状が説明できる。
17. 運動器系の疾患について、筋肉・骨・関節の代表疾患の概要が説明できる。
18. 皮膚・感覚器の疾患について、代表的な疾患の概要が説明できる。
19. 自己免疫疾患の分類、概要が説明できる。
20. 細胞学的検査法の意義、検体処理・固定・染色法、スクリーニングの概要、および代表的な良性・悪性細胞の特徴が説明できる。

◆学習方法

講義形式で行う。必要に応じてプリント、スライドを使用する。

◆評価方法

定期試験により評価を行う。

◆教科書

臨床検査学講座 『病理学/病理検査学』 松原 修 他著 医歯薬出版(株)

◆参考書

◆教員紹介

担当教員は調査研究機関での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1	総論 ①	病理学概要	福地
2	〃 ②	病因論<外因・内因>	〃
3	〃 ③	遺伝・奇形	〃
4	〃 ④	退行性病変<萎縮・変性・壊死>	〃
5	〃 ⑤	進行性病変(1) <肥大・増生・再生・化生・移植>	〃
6	〃 ⑥	進行性病変(2) <肉芽組織・瘢痕・創傷治癒>	〃
7	〃 ⑦	循環障害(1) <虚血・充血・うっ血・出血・側副循環>	〃
8	〃 ⑧	循環障害(2) <血栓症・塞栓症・梗塞・浮腫・脱水・ショック>	〃
9	〃 ⑨	炎症(1)<原因・経過・各型・特異性炎>	〃
10	〃 ⑩	炎症(2)<真菌症・免疫>	〃
11	〃 ⑪	腫瘍(1)<定義・成因・性状>	〃
12	〃 ⑫	腫瘍(2)<分類>	〃
13	各論 ①	循環器系疾患<心臓・血管・リンパ管>	〃
14	〃 ②	呼吸器系疾患	〃
15	〃 ③	消化器系疾患(1) <口腔・唾液腺・食道・胃・腸>	〃
16	〃 ④	消化器系疾患(2)<肝臓・膵臓>	〃
17	〃 ⑤	神経系疾患	〃
18	〃 ⑥	内分泌系疾患・造血器系疾患	〃
19	〃 ⑦	泌尿器系疾患	〃
20	〃 ⑧	生殖器系疾患	〃
21	〃 ⑨	運動器系疾患・感覚器系疾患	〃
22	〃 ⑩	膠原病	〃
23	〃 ⑪	細胞診	〃